



## Unified CCX ライセンス

---

Unified CCX ライセンスは、システムの物理 MAC アドレスとは異なるライセンス MAC という文字列に基づいています。ライセンス MAC はシステムパラメータに応じて異なります。いずれかのパラメータを変更すると、ライセンス MAC が変更されて、現在のライセンスファイルが無効になる可能性があります。次に、ライセンス MAC の有効性に影響するパラメータを示します。

- タイムゾーン (Time zone)
- NTP サーバ 1 (NTP server 1) (または「なし (none)」)
- NIC の速度 (NIC speed) (または「自動 (auto)」)
- ホストネーム (Hostname)
- IP アドレス (IP Address)
- IP マスク (IP Mask)
- ゲートウェイ アドレス (Gateway Address)
- プライマリ DNS (Primary DNS)
- SMTP サーバ (SMTP server)
- 証明書の情報 (Certificate Information) (組織 (Organization)、部門 (Unit)、場所 (Location)、都道府県 (State)、国 (Country))



(注) Unified CCX ウォーム スタンバイ ライセンス、およびその他すべてのライセンスは、Cisco Unified CCX クラスタの最初のノード (通常はデータベースパブリッシャノード) のライセンス MAC アドレスにノードロックされます。2 番目のノードを追加すると、最初のノードの有効なアドオンウォームスタンバイライセンスの検証が実行されます。クラスタが設定された後で、クラスタの両方のノードでライセンスが有効になります。

- [デモライセンス, 2 ページ](#)
- [インストール前のライセンス MAC の取得, 2 ページ](#)

- [インストール後のライセンス MAC の取得, 3 ページ](#)
- [ライセンスのアップロード, 3 ページ](#)

## デモ ライセンス

Unified CCX のインストール DVD には、60 日間有効で、すべての機能が含まれる 25 シート プレミアム デモ ライセンスが付属しています。

## インストール前のライセンス MAC の取得

Unified CCX をインストールする前に、ライセンス MAC を取得するには、次の手順を実行します。

### 手順

- 
- ステップ 1** 応答ファイル生成ページ ([http://www.cisco.com/web/cuc\\_afg/index.html](http://www.cisco.com/web/cuc_afg/index.html)) を開きます。
  - ステップ 2** 製品情報をフィールドに入力し、[応答ファイルとライセンスMACの生成 (Generate Answer Files & License MAC)] ボタンをクリックし、ライセンス MAC を取得します。
  - ステップ 3** <http://www.cisco.com/go/license> のライセンス登録ページで、Unified CCX 製品に付属している、または電話注文時に受け取った製品認証キー (PAK) を入力します。
  - ステップ 4** [送信 (Submit)] をクリックし、画面の手順に従います。
  - ステップ 5** Unified CCX クラスターの最初のノードのライセンス MAC を入力します。
  - ステップ 6** 有効な電子メールアドレスと、ライセンスが必要なノードの数を入力します。  
(注) Unified CCX はノードロックされたライセンスのみをサポートします。ただし、Unified CCX は、アップグレードライセンスも存在する場合にのみ、アップグレードされたシステム上の 9.0(1) よりも前の Unified CCX バージョンに使用されている既存のライセンスを引き続き認識します。
  - ステップ 7** サーバにライセンス ファイルをアップロードします。  
ライセンス ファイルをアップロードしてライセンス情報を表示する方法の詳細については、次の URL で入手可能な『Cisco Unified Contact Center Express Administration Guide』を参照してください。  
[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/custcosw/ps1846/products\\_installation\\_and\\_configuration\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/custcosw/ps1846/products_installation_and_configuration_guides_list.html)
-

# インストール後のライセンス MAC の取得

## コマンドライン インターフェイスの使用

### 手順

- 
- ステップ 1 Unified CCX の管理者のクレデンシャルを使用して Unified CCX システムの CLI にログインします。
  - ステップ 2 `show status` コマンドを実行します。  
このコマンドの出力にライセンス MAC が含まれています。
- 

## Administrator の Web インターフェイスの使用

### 手順

- 
- ステップ 1 Unified CCX Administrator クレデンシャルを使用して Unified CCX Administrator の Web インターフェイスにログインします。
  - ステップ 2 [システム (System)]>[ライセンス情報 (License Information)]>[ライセンスの表示 (Display License(s))] をクリックし、ライセンス MAC を取得します。
- 

## ライセンスのアップロード

Unified CCX のすべての機能コンポーネント用のソフトウェアは、インストール中にシステムにロードされます。ただし、その機能のライセンスが追加され、アクティブになっていないと、どの機能も利用できません。

[ライセンス情報 (License Information)] ページでは、ライセンスをアップロードしたり、表示したりできます。ライセンスをアップロードするには、次の手順を実行します。

### 手順

- 
- ステップ 1 Unified CCX Administration のメニューバーから、[システム (System)]>[ライセンス情報 (License Information)]>[ライセンスの追加 (Add License(s))] を選択します。  
[ライセンス情報 (License Information)] Web ページが開きます。
  - ステップ 2 ライセンス ファイルを指定するか、[参照 (Browse)] をクリックしてファイルを見つけます。

.lic 拡張子が付いた単一ファイル、または複数の .lic ファイルが含まれた .zip ファイルのいずれかを指定できます。

(注) 以前のリリースからアップグレードする場合で、複数のライセンスがあるときは、すべての .lic ファイルを単一の .zip ファイルに圧縮してから、その zip ファイルをアップロードします。 .zip ファイルを指定する場合は、追加する必要があるすべての .lic ファイルが .zip ファイルのルートにあり、.zip ファイルのサブフォルダにないことを確認します。

**ステップ 3** [アップロード (Upload) ]をクリックします。

ライセンスが正常にアップロードされると、この Web ページ上部のステータスバーに「ライセンスが正常にアップロードされました (License has been uploaded successfully) 」という確認メッセージが表示されます。

既存のライセンス供与済みのアウトバウンド IVR ポートを増やすためのアドオン ライセンスをアップロードした場合は、次のメッセージが表示されます。

「ライセンス供与済みの IVR ポートの数を増やしました。ライセンス供与済みのすべてのポートを使用できるようにアウトバウンドコール制御グループのポート数を増やしてください。 (As the number of licensed Outbound IVR Ports have increased, please increase the number of ports in the Outbound Call Control Group to utilize all the licensed ports.) 」

---